

9月10日(木)10:00~12:00/M23教室

様々な学習支援の方法

■講師



城間 祥子

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 助教)

筑波大学第二学群人間学類卒業。同大学院人間総合科学研究科心理学専攻単位取得退学。修士(心理学)。専門は教育心理学。



庭崎 隆

(愛媛大学 教育・学生支援機構 共通教育センター 准教授)

北海道大学理学部数学科卒業。同大学院理学研究科数学専攻博士課程中途退学。博士(理学)。専門は代数学。



山内 一祥

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室・特定研究員)

岡山理科大学理科学部化学科卒業。愛媛大学大学院教育学研究科理科教育専攻修士課程修了。専門は教育方法学。

■プログラム概要

1. 学習支援の枠組み整理

学生の学びを促す取り組みにはどのようなものがあるかを整理します。

○時期に応じた学習支援 ○学習支援の担い手 ○学習環境の整備

○学生生活の支援 ○単位の実質化

2. 愛媛大学における学習支援の事例

①リメディアル教育

新入生を対象とした、共通教育理系基礎科目「微積分」に対する補完教育として、共通教育主題科目「数理と論理の世界」(授業題目「初級微積分」)を前学期に5クラス開講(220名程度)。広範な高校数学Ⅱ、Ⅲの領域+ α を短期間で習得するため、受講生は次のことを期待される。

○学習のモチベーションを高め、維持する。 ○授業時間外学習の習慣を身につける。

また、多数のスタッフが関わる組織的な取り組みであり、特に担当教員・TA・SHD間の連携が重要な要素となる。

②スタディ・ヘルプ・デスク(SHD)

主に共通教育の授業を対象にした、大学院生による学習支援室の取組を紹介します。

○学習スタイルコンサルテーション ○教科学習支援

3. 参加者間での取り組み事例の共有

各大学の取り組み事例について情報交換し、改善策を考えていきます。

■本プログラムの到達目標

1. 多様な方法で学習支援に取り組むことができることを理解する。
2. 各大学等で行われている学習支援の事例を共有する。
3. 学習支援の取り組みを充実させるためのアクションプランを作成する。